

札幌市役所の光景

長年の思いでした。南魚沼市立総合支援学校が校外学習の一環として運営する「MSGカフェ」。高等部の生徒たちがスタッフとなり、地域の人たちと交流することで社会参加への積極性や社交性を高め、卒業後にも役に立つ接客やサービスを学ぶことなどを目的として、これまで図書館などで開催してきました。2月21日(木)、より多くのみなさんに知ってもらおうと市役所本庁舎1階の市民ホールに初めて出店してくれました。生徒が笑顔で提供した140杯の無料のコーヒーはあっという間に、販売していたクッキーやケーキなども完売となる大盛況ぶりでした。

開店前のあいさつで私は「議員時代に視察に行った札幌市役所の光景が忘れられない。障がい者のみなさんが庁舎でカフェを開き、職員や市民に元気を与えている様子に感激しました。このカフェが、共生社会の一步として、楽しい交流の場となることを願っています」と激励の言葉を贈りました。

札幌市役所の「元気カフェ」は、これまで来庁者の待合空間だったロビーを一変させ、来庁者数は年間3万人を超えるとか。視察後、私は報告書に「涙が出た視察など初めて。障がい者の就労支援は当然だが、彼らの真摯な働きぶりや笑顔、大きな声で接客する姿は、市職員の意識改革にもつながり、来庁者すべてを鼓舞するだろう。あの和やかなロビーの光景を南魚沼で実現させたい！」と興奮気味に書いていました。その思いに込めてくれたのが、今や当市の誇りである総合支援学校。平成29年に、本庁舎1階に開設した総合窓口はおおむね好評。案内がわかりやすく、明るくなつたと。しかし、もう一歩前に進みたい。市民の憩いの場となり、同時に総合支援学校卒業後の就労の一助となるよう常設化をめざしたい。今回は一日限りでしたが、新年度からは定期的にと学校関係者。

まずは一歩。できない理由を探さない、どうやったらできるか。やればできる！

国際大学留学生 お国自慢コーナー ～ boast of my country ～

シリーズ
第72回

ジブチ共和国 ムスタファ モハメド アリ さん



私の国はこんなところ

ジブチはアフリカの角と呼ばれるアフリカ大陸北東部の半島に位置し、紅海の南側のアフリカへの玄関口となっている国です。とても小さな国ですが、美しい景観であふれています。最も有名な観光地のアッサム湖は海面下153メートル地点に湖面があり、アフリカ大陸で最も低い場所とされるほか、地球上で最も塩分濃度が高い塩湖です。また、ジブチは紅海で周遊するジンバイザメと泳げるダイビングスポットとしても有名です。ジブチの魅力は陸と海のどちらにもあるため、自然好きな観光客に喜ばれています。



南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼に来て1年半が経ちました。美しい四季がとても気に入っています。冬の浦佐毘沙門堂裸押合大祭、春の桜、夏の花火大会を楽しみました。南魚沼で初めてスノーボードに挑戦しました。また、初めて食べて印象深かったものは、コシヒカリ、鮭、八色スイカです。すばらしいものがいろいろありますが、南魚沼の親切な人たちに支えられ、日々の生活を送れています。南魚沼に来たことがこれまでの人生で一番の経験だと感じています。

ジブチ共和国

[公用語]	アラビア語、フランス語
[首都]	ジブチ
[面積]	23,000km ² (146位)
[人口]	900,000人 (158位)
[GDP(PPP)]	27億ドル (168位)
[通貨]	ジブチ・フラン (DJF)

※GDPは国内総生産のことで、購買力平価説(PPP)により算出した数値です